

# 平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

地域の現状：『公営住宅は、住宅に困っている収入の少ない人に対し、低家賃で提供される住宅です。通常、住宅を管理している自治体に居住している所得が一定以内の世帯・単身者でなければ応募できません。さらに、60歳以上の人、心身に障害のある人、生活保護受給者、DV被害者などに入居資格が限定されていることが一般的です。詳細は、各自治体、各公社にお問い合わせください。』と、神奈川県の説明にあります。当ケアプラザの主なエリアは上白根町の戸建住宅と横浜市営住宅2,325戸と、961戸のUR住宅です。

市営住宅、URは主に5階建ての集合住宅で築47年を迎え、古くから居住している住民同士のつながりは深いものの、新住民の中には自治会に参加せず状況が不明な方も多くなっています。市営住宅はエレベーター設置工事が終了しましたが、新旧住民の交流は進んでいないと考えられます。URに関しては、エレベーター工事の予定は無いようです。

#### 課題Ⅰ：見守り

5年前に見守りネットワークのモデル事業が終わりましたが、以降も引き続き地域からの連絡があり、見守り合うことが続いているのは、隣人同士の長い人間関係と助け合いの気持ちによるところが大きいのと思われます。新住民とも同様な見守りがなされるよう支援しました。

#### 課題Ⅱ：ボランティア

次世代の担い手として小、中学生の福祉教育に協力し、高校生にもボランティア活動を通して、地域に関心を持ってもらうような働きかけが必要です。今年度も小・中・高校の福祉教育と中・高のボランティア部の活動を支援しました。

#### 課題Ⅲ：支援困難ケースへの対応

地域ケア会議も、個人レベル、包括レベル、区レベルと進め、急務と思える、支援困難ケースに対して行政との連携を深めることが必要です。昨年度に続き、新しい仕組みづくりを話し合う機会を持ちました。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

・施設の安全かつ衛生的な維持管理を目指し、保守点検に関すること及び、閉館後のセキュリティ管理を専門業者に委託しました。また日常の衛生管理を目的に、皆で清掃・消毒作業を行いました。全館清掃、害虫駆除などは外注で行いました。エントランス、中庭、広大な斜面の草刈、植栽の剪定等は、危険も伴うためボランティアには依頼できず職員が実施しました。また、築10年を超えた時から、さまざまな設備が壊れてきました。不具合の程度を見極め、優先順位をつけて修繕を行いました。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・ケアプラザ内の連携を図ることでスムーズな事業の流れを目指しました。ケアプラザ委員会（月1回）、各部連絡会(毎週金曜日)ほか、各部門で随時連絡会、ミーティングを持ち、個人情報保護法等の制度に留意しながら、運営上必要な情報の共有化を心がけることで連続性のある包括的な支援体制を維持するよう努めました。
- ・節電を徹底し、水道の使用を控え、ゴミルート回収のために、細かく分別を行う等資源の無駄を省きつつ、良好な環境作りに留意しました。
- ・設備については、本年開設14年目を迎えるため不具合箇所が発生する可能性が高まっており、ご利用者へ迷惑をかけないよう、早めの修繕を行っていくよう心がけました。昨年同様、優先順位を見極め、予算も考慮し取り組みました。また、備品管理についても適切に行いました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・苦情解決責任者は所長、苦情受付担当者として各部主任を決め、第3者委員として運営協議会会長と、上白根地区社会福祉協議会会長を置き、苦情や意見の窓口としました。ご意見ダイヤルのポスターとともに館内に掲示し、周知を図りました。
- ・挙げられた苦情や要望は苦情事故対応委員会を通してケアプラザ委員会に提出し、解決するよう必要な対応を行いました。
- ・苦情事故対応委員会を毎月開き、各月の報告に対して原因、対応策を話し合い現場にフィードバックすることで再発防止に努めました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・施設の警備を専門業者と契約し、夜間や早朝、年末年始休館に対応しました。
- ・警備中の有事に関しては、ケアプラザ委員会メンバーを中心に必要に応じて緊急連絡網を用い、職員に周知し対応しました。
- ・火災等の災害に対しては、防火管理者の立てた防災計画に則り年間2回の防災避難訓練を行い、緊急時に備えました。
- ・大地震への備えとして、横浜市防災計画に沿って地域防災拠点運営委員会との連携を強め、ケアプラザの「特別避難場所開設マニュアル」に沿って行動できるよう、職員に周知し、具体的な研修を行いました。
- ・災害時備蓄品の更新を行いました。

#### オ 事故防止への取組について

- ・朝礼で、職員に対して事故への注意、安全への意識付け等を行いました。  
（祝日を除く月曜日から金曜日8時45分から9時）
- ・ひだまり（高齢者の認知症予防教室）などの事業開始時に、対象者の心身の状態を含む健康状態のチェックを行い、事故が起こらないように留意しました。
- ・デイサービスでは、夕方のミーティングで業務内容の確認、反省、見直しをして、事故防止に努めました。ひやりはっとの案件に応じて、実技を伴う研修・勉強会を行いました。
- ・職員研修で全員に注意を促し、事故防止に取り組みました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 区役所から提供された資料を基に個人情報保護についての研修を行い、全員の誓約書を区役所に提出しました。
- ・ 新規雇用者へは、初日の研修で同じ資料を用いて理解を深めてもらい、誓約書に署名をしてから、業務についてもらいました。
- ・ デイサービスでは、夕方のミーティングで確認し、個人情報保護に関してミスの無いように、常に敏感であるよう取り組みました。

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 広報紙、チラシ、掲示板、ホームページ等でケアプラザの事業や取り組みに関する情報を積極的に発信しました。
- ・ 地域に関係する防犯情報、各種講演会などの公的情報等を集め、発信することによって地域の情報窓口としての機能を充実させました。
- ・ 介護サービス情報の公表制度で、介護サービスの内容や運営状況に関する情報を公表しました。

#### ク 人権啓発への取組について

- ・ 地域住民の尊厳を守り、安全・安心な暮らしをしていただけるよう努めるため、地方自治法第244条及びヘイトスピーチ解消法第2条等に基づきケアプラザの管理運営に努めました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ ゴミルート回収に全職員が協力し所内でのゴミの分別、収集、計測を行いました。各部門でゴミを分別し、計量したデータを集計し、職員が週3回燃えるゴミ、週1回不燃ごみ、月1回資源ごみ、年間2回蛍光管などのマニフェストを作成、業者からの伝票を記録し3ヶ月ごとに担当に報告しました。
- ・ 職員は、タオル、ハンカチ持参で、ペーパータオルの節約によるごみ減量、水道の節水、消灯や、冷暖房の温度設定による節電、裏紙使用による紙の節約をしました。
- ・ 所内外の美化、整備、衛生に地域活動交流部門の職員を中心に全員で対応しました。
- ・ 例年通り、入館者の感染症予防のために、建物入口での消毒液空間噴霧や手指用アルコール消毒器を継続し、感染予防・防止に努めました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
担当者 5名（常勤兼務4名、非常勤兼務1名）

#### 《目標》

地域の方々が住み慣れた街で安心して暮らすことが出来るように、また一人一人の尊厳が守られ希望を持って過ごせるように介護保険法に基づき介護予防支援を行いました。

個別性を尊重し、自律した生活が出来るように支援しました。  
地域のインフォーマルサービスを活用して地域性に合わせたプランを作成しました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則的には実費負担なし。
- 地域外への支援の交通費については応相談

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

ケアプラン作成は担当者会議や事業所内でのカンファレンスなどを通じて多角的に支援を検討しました。地域のボランティア団体や自治会、商店街のネットワークなどの地域資源を紹介して支援につなげました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	120	112	107	109	104
10月	11月	12月	1月	2月	3月
104	108	103	104	100	99

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
介護支援専門員	常勤専従	1名
	常勤兼務	1名
	非常勤兼務	1名

《目標》

地域の方々が独居、老老介護など困難な状況であっても、住み慣れた自宅で暮らせるよう、安心と信頼を提供致しました。ご利用者の意思を尊重し、心身の状況、環境などに応じて、自立した日常生活を営むことが出来ることを目指し、支援を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●特に無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センター併設事業所として、幅広い相談に柔軟に対応出来るように心掛けました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
88	90	90	94	97	95
10月	11月	12月	1月	2月	3月
101	95	94	89	87	92

## ● 通所介護事業

### 《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス報告作成 ●生活相談
- 機能訓練（日常動作訓練） ●介護サービス ●健康状態の確認
- 送迎 ●給食 ●入浴

### 《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

#### 大規模事業所Ⅱ

- 1割負担分（5－7時間） 1回分
  - （要介護1） 587円
  - （要介護2） 694円
  - （要介護3） 800円
  - （要介護4） 907円
  - （要介護5） 1045円
  
- 1割負担分（7－9時間） 1回分
  - （要介護1） 674円
  - （要介護2） 796円
  - （要介護3） 921円
  - （要介護4） 1048円
  - （要介護5） 1174円
  
- 入浴介助 54円
- 認知症加算 65円
- 中重度者ケア体制加算 49円
- 若年性認知症利用者受入加算 65円
- サービス提供体制加算Ⅰ 20円
- 食費負担 750円
- 活け花 600円
- お習字 100～200円
- パット・下着（紙パンツ）代 50～100円

### 《事業実施日数》 週 6日

### 《提供時間》

- （5－7） 10:00 ～ 15:10
- （7－9） 9:00 ～ 16:10

### 《職員体制》

- 管理者 1名
- 生活相談員 2名
- 看護職員（兼機能訓練指導員） 3名
- 介護職員 18名
- 調理員 5名

《目標》

- 1 デイサービスの支援が必要なご利用者の意欲と生活機能及び生活意欲の維持・向上をめざして、サービスを提供しました。
- 2 地域福祉の担い手として責任感を持ち、多様な資源との『繋がり』を大切に『謙虚な気持ち』でご利用者及びご家族への支援を実践しました。
- 3 ご利用者・ボランティア・職員が、それぞれに《目配り・気配り・心配り》を行う事により更に暖かくご利用者からも地域からも必要とされるデイサービスを目指しサービスを行いました。

- あたたかい介護
- 制度に即した運営
- サービスの質の向上
- 情報発信
- 地域社会及び関係各所との連携
- 個人情報の適切な管理

《その他（特徴的な取組、PR等）》

昼食はおいしい選択食（主食、主菜）と、お楽しみ行事食を提供しました。  
笑顔で迎え、笑顔で送るデイサービス。「来てよかった」「また来たい」と笑顔で過ごしていただけるデイサービス。利用者や家族が安心して利用できるデイサービス。常にサービスの質の向上を意識して日々の業務に取り組みました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
931	936	961	977	996	949
10月	11月	12月	1月	2月	3月
993	982	882	870	851	953

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成 ● 生活相談
- 機能訓練（日常動作訓練） ● 介護サービス ● 健康状態の確認
- 送迎 ● 給食 ● 入浴 生活機能向上グループ

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要支援1） 1766円/月
  - （要支援2） 3620円/月
- 生活機能向上グループ活動加算 108円/月
- 若年性認知症利用者受入加算 108円/月
- サービス提供体制加算 I 要支援1：78円/月、要支援2：155円/月
- 食費負担 750円/回
- 活け花 600円/回
- お習字 100～200円/回
- オムツ代 50～100円

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9：00～16：10 【希望者は午前、午後が選べます】

《職員体制》

- 管理者 1名
- 生活相談員 2名
- 看護職員（兼機能訓練指導員） 3名
- 介護職員 18名
- 調理員 5名

《目標》

- あたたかい介護 ● 制度に即した運営 ● サービスの質の向上 ● 情報発信
- 地域社会及び関係各所との連携 ● 個人情報の適切な管理

《その他（特徴的な取組、PR等）》

笑顔で迎え、笑顔で送るデイサービス。「来てよかった」「また来たい」と笑顔で過ごしていただけるデイサービス。利用者や家族が安心して利用できるデイサービス。私たちは、常にサービスの質の向上を意識して日々の業務に取り組みました。昼食はおいしい選択食（主食、主菜）と、お楽しみ行事食を提供しました。

《利用者実績（契約者数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
94	76	77	76	63	82
10月	11月	12月	1月	2月	3月
70	70	76	73	77	85

※ 単位は省略してください。

【単位：人】



以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- 高齢者・障害・子ども等幅広い分野の相談について、相談者に情報提供しました（141件相談対応）。
- 地域の特徴やニーズを把握し、相談や情報提供の手法に反映させました。
- 窓口だけでなく、自主事業・会議等さまざまな場面で相談・情報提供をしました。チラシ、広報紙、ホームページ等で周知しました。
- 職員は必要な制度施策・社会資源等の情報把握をして適切な支援につなげられるよう対応しました。
- 相談事例に対しカンファレンスなどを行い多角的に課題対応しました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- 地域包括支援センターの3職種の専門性、地域活動交流コーディネーターの地域とつなぐ力、地域の生活者の視点、生活支援コーディネーターの地域を活性化させる力を取り入れた支援をしました。
- 地域包括支援センターが把握した課題（ひとり暮らし高齢者の支援等）を地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターも含めた地域支援関係者等に伝え、地域でできる支援体制や啓発事業などへとつなげました。
- 地域包括支援センター・地域活動交流部門、生活支援体制整備部門で連携し、個別の課題に対応し、ケアプラザ内で共有しました。
- 地域の特徴に合わせた取組（新規・拡充、自主事業）をしました。

### 3 職員体制・育成

- 所長を含む常勤職員の適切な配置を行いました（※欠員が発生しないように）。
- 職員の資質向上、人材育成を目的とした研修を実施するとともに、外部研修や実習参加を促し、研修報告の提出、伝達研修等を行いました。
- 日々の活動から得た知見を元に、法人内研究発表会や社会福祉学会、看護学会等の研究発表会への参加を促しました。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- 地域の関連団体や関係機関とのネットワークを強化するため、情報交換や定期的な会議をもちました。
- 民児協、地区社協、連合町内会、教育関係機関、区福祉保健センター、区社会福祉協議会その他福祉保健団体で、地域課題の情報共有とともに地域福祉保健計画を推進する取り組みの支援をしました。
- 子育て支援拠点（しゃべり場、子育て相談）、地域生活支援拠点ほっとぽっと（にこにこ会）、NPO法人カプカプ（地域活動支援センター障害者作業所型 カプカプ）等との連携を維持しました。
- 支えあいネットワークの特徴的な取組みを継続しました。
- SOSローカルネットワークなどエリア内での他機関と連携した見守りのネットワークの維持・強化に努めました（33機関・店舗を訪問）。

## 5 区行政との協働

- 地域ケアプラザの役割を理解し、区と協働して取り組みました。
  - (1) 地域福祉保健計画
  - (2) 運営方針
  - (3) 区事業等
  - (4) 区包括的・継続的ケアマネジメント支援計画
  - (5) 障害者など社会的弱者への支援
- 支援チーム会議へ参加しました。
- 運営協議会を年間3回開催しました。
- 自主事業やサロンを開催しました。
- 高齢・障害支援課、生活支援課との連絡会を行いました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域における福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社協・連合町内会・地区民児協・地域のサロンや昼食会等）を把握し情報提供しました。
- 区、区社協からの情報提供を受けて積極的に整理・活用しました。
- 会議・利用団体等との情報交換から把握したニーズの取りまとめをしました。
- 会場利用団体の活動を紹介し交流会を開催しました。
- 掲示板のニュースなどを毎日更新、貸室情報を毎週更新、情報紙、事業紹介を毎月更新、ホームページの更新及びその他自主事業の案内など随時行いました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 福祉保健活動団体や地域団体に気持ちよく利用していただくために窓口での気軽なコミュニケーションに努め、相談や要望などが言いやすい環境を整えました。
- 毎週最新の空き室情報の掲示・ホームページの更新をしました。メール、電話でのお問い合わせも気持ちよく応じました。
- 各登録団体が利用しやすくなるよう、申込み受付の案内・掃除道具や調理器具の見直しを行いました。

### 3 自主企画事業

- 自主事業を通じ、参加者の実情に合わせて福祉保健活動の開発・実施や新たな地域福祉のための取組をしました。
- 高齢者だけでなく、子ども・障害分野の事業を実施し、福祉活動への働きかけを行いました。
- 地域の集会所などを利用して講演会、サロン、体力向上プログラム、出前講座などを開催しました。
- 他団体の共催なども視野に入れ、自主事業を充実させました。

#### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ボランティア育成のための取組を継続しました。
- 継続してボランティア登録及びコーディネートを行いました。
- 区社協ボランティアセンターとの連携を行いました。
- 交流会を開きボランティア同士のネットワーク化を図りました。
- 名簿の整備を継続しました。

### 地域包括支援センター

#### 1 総合相談・支援

##### 総合相談

- 地域アセスメントを行い、実態を把握しながら支援を行いました。
- 相談や関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握しました。
- 年間相談件数は、訪問相談 約341件、来所・電話相談 約1,520件でした。  
昨年度より相談件数が86件増加、相談の困難化が進んでいます。
- 高齢者・障害者ほかに関する相談を受け、相談内容を的確に把握しました。
- 相談内容に応じて適切な情報を提供し関係機関や制度、事業等につなぎました。
- 必要に応じて継続的にフォローしました。

##### 地域包括支援ネットワークの構築

- 地域包括ケアシステム構築のため、これまでに培った地域の介護サービス事業者・医療機関・福祉関係機関、自治会、民生委員、行政機関等とのネットワークを地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターとも協働し、維持強化に努めました。
- 関係者一同の迅速な対応と緊密な連携が可能となるよう、地域に共通する課題を共有できるよう努めました。

##### 実態把握

- 民生委員・児童委員、自治会、老人会、各種事業参加者等からこまめに情報を集め、地域アセスメントを行い、実態の把握に努めました。
- 相談や関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等の把握に努めました。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

- 成年後見制度をはじめ、権利擁護事業や消費者保護など関連する法制度を理解し、区、区社協、関係団体等と連携し支援を行いました。
- 成年後見制度等の普及啓発に取り組みました(4地域包括支援センター合同で成年後見講座1回21名参加)。
- 親族申立支援にあたり手続きなどに関して司法関係機関と連携し適切にアドバイスをしました。
- 地域の昼食会、民生委員懇談会等で地域の方々へ、旭安全安心かわら版、見守り新鮮情報等の情報提供をし、被害を予防するよう働きかけ、個別の消費者被害の解決支援も行いました。
- 振り込め詐欺や消費者被害等を防止すべく広報活動等の取り組みを行いました(消費者被害・振り込め詐欺防止講座60名参加)。

### 高齢者虐待

- 虐待事例に対し、区と情報や支援の方向性を共有し、区との役割分担に基づき対応し、適切な支援を行いました。関東学院大学の副田教授の依頼を受け、安心づくり安全探しアプローチ研究会(AAA)が開発したカンファレンス様式を用い、虐待の解決に努め、より良い虐待対応のための研究に協力しました。
- 介護者支援に積極的に取り組みました。  
分離後の本人や家族に定期訪問するなど継続的にフォローしました。  
介護者のつどい『銀倶楽部』を開催しました(12回、45名参加)。介護者が孤立しないよう参加を促し、ストレスケアと虐待防止に取り組みました。

### 認知症

- 認知症の正しい理解の促進のため、普及啓発等の取り組みをしました。  
認知症講座、地域向けの講座等を開催しました(2回42名参加)。
- アルツハイマーデーに近隣のショッピングモールに出向き、認知症について正しい理解を求める普及啓発に努めました(区役所職員、民生委員、ボランティア、ケアプラザ職員、学生等13名参加、チラシなど180人分を配布)。
- SOSローカルネットワーク(徘徊高齢者検索ネットワーク)の活用で認知症の人と家族が安心して暮らせるように努め、協力機関、店舗との連携を維持できるよう協力機関・店舗を訪問しました(33機関・店舗)。

## 3 介護予防マネジメント

### 介護予防ケアマネジメント力

- 要支援者の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントを行いました。
- 委託を行う場合はケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントが出来るよう担当者会議での助言や、ケアマネジャーに地域資源の情報を提供するなど支援に取り組みました。
- 地域包括支援センターエリア内やブロック毎での介護予防支援業務に関する連絡会・勉強会・情報共有を主任ケアマネジャーと連携して行いました(委託事業所連絡会開催、19名ケアマネジャー参加)。

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地域住民が必要とする情報を提供できるよう生活支援コーディネーターと連携しました。インフォーマルサービス等の情報収集・整理を行い、独自作成の『配食サービス一覧表』『市営・UR住宅改修手続きフロー』を更新しました。
- ケアマネジャーと地域の民生委員やボランティア団体等とのネットワークの構築ができるよう、情報交換会を11回実施しました（参加者延べ199名）。
- 地域ニーズを把握するため自治会の各会合や「ひかりが丘を元気にする会」への参加を致しました。『あんしんネットワーク』を維持できるように安否確認時の連携に努め課題の確認を致しました。地域の特色を関係事業者に伝え、ネットワークの維持強化と新たな協力機関を開発するため、地域住民向けに『精神科医による勉強会』を区役所と共催で実施しました（地域住民向け・参加者27名）。
- 地域ケア会議について、地域特性に合わせ柔軟に運営しました。出席者には『旭区版地域ケア会議パンフレット』等理解しやすい資料での周知を図りました。
- 地域で行う見守りの『あんしんネットワーク』では、生活援助員とも連携し「ささえあい連絡会」への協力等で関わりました。安否確認に対する迅速な対応を実施しました。また、関係各機関の協力が得られるようPRや注意事項の伝達・対応手順の見直しを実施しました。

##### 医療・介護の連携推進支援

- ケアマネジャーと地域の医療機関等との「連携できる関係作り」の為の勉強会を①「かみしらねアカデミー」として「リウマチについて学ぶ（上白根病院大矢直子医師による講義）」②「介護サービス事業所連絡会」として「精神保健福祉講座『依存症治療と地域生活支援』（神奈川病院精神保健福祉士早間氏による講義）」③「精神科医との相談会（『ことぶき共同診療所』院長鈴木伸医師による講義）」（区役所と共催）を実施しました。
- エリア内の医療機関（在宅療養支援診療所、医療ソーシャルワーカー、薬局等）を訪問し、顔の見える関係作りに努めました。  
個別地域ケア会議に際し（出席できない）医師からの意見を予め確認し、主治医の意見が会議に反映されるよう努めました。
- 区域で作成した医療連携ツール『もの忘れ相談シート』を新任ケアマネジャーにも紹介し、連携が図れるよう働きかけました。昨年度実施した、包括レベル地域ケア会議についての報告会を上白根・今宿西と3地域包括支援センター合同で「介護サービス事業所連絡会」にて実施し（参加者55名）、事後アンケートにて地域課題についての意見集約も行いました。

##### ケアマネジャー支援

###### ○ケアマネジャーへの支援体制の構築

- ・相談への支援を随時実施しました（465件）（2015年度より99件増）。困難事例の相談が増加し課題が複合化している傾向が継続しています。
- ・個別地域ケア会議の場で事例の個別課題について掘り下げました。専門職との相談会として「精神科医との相談会」を区役所と共催で開催しました。また「かみしらねアカデミー」で「難病」「ケアプラン」「面接技術」「発達障害」、「介護サービス事業所連絡会」で「依存症」についての研修を実施しケアマネジメントの質の向上を図りました（参加者延べ195名）。
- ・新人・就労予定ケアマネジャーに対する研修を区内の地域包括支援センター合同で

2回実施しました。

- ・サービス担当者会議の開催支援及びスーパーバイズを随時行いました。
- ・支援困難事例、緊急対応時等の支援を随時行いました。
- ・区ケアマネジャー連絡会への支援として運営委員会への出席（3回）と研修会開催の支援（4回）を行いました。
- ・ケアマネジャーのスキルアップのためエリア内連絡会・勉強会を「かみしらねアカデミー」「介護サービス事業所連絡会」として計6回実施しました。
- ・また今年度は区の医療ソーシャルワーカーの協力により「精神科医との相談会」を開催し、困難事例の相談もできました（専門職向け・参加者29名）。事後アンケートでは定期的に精神科医等と相談できる機会への要望が多数でした。

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- 居宅介護支援事業所・介護サービス事業所の連絡会（全体会）を上白根・今宿西との3地域包括支援センター合同で2回実施しました。地域の薬局薬剤師にも参加して頂き、個別課題や地域課題について情報交換や検討を行い、アンケートも実施しました（参加者延べ93名）。
- ケアマネジャー・民生委員との懇談会を11回実施し、顔の見える関係作りと連携の強化を行いました。今年度は「旭区障害者後見的支援室絆」に事業説明をして頂き障害支援機関との連携強化も図りました。
- 地域ケア会議について周知し、出席者が趣旨を理解して参加し地域課題を抽出・検討できる機会となるよう努めました（個別4回・包括レベル2回開催）。今年度は「『高齢者+障害者』世帯への支援」をテーマとして、障害者支援機関（旭区障害者後見的支援室絆、基幹相談支援センター、地域活動支援センター）との連携とネットワーク形成を図りました。区的生活困窮者自立支援担当者にも会議に出席してもらい、複合課題を持つ世帯への支援力強化の一助となりました。
- 包括レベル地域ケア会議で地域課題として取り上げられた「相談すること自体の困難さ」についても、「誰も孤立しない町づくり」を目標に、「困った時に相談できる相手のいる町」「『何か困っていない?』と聞いてくれる人のいる町」作りに資する取組を今後も実施します。
- 昨年度実施した包括レベル地域ケア会議について「介護サービス事業所連絡会」で報告しました。上白根・今宿西と3地域包括支援センター合同で開催することで、地域特性の違いについての理解促進を図り、地域包括ケアシステムについての普及啓発を行いました。

## 5 介護予防事業

#### 介護予防事業

- 高齢者の状態を把握し、介護予防のきっかけになる情報提供や活動への参加を促すとともに、地域の中で介護予防の取組が広がるように努めました。
- 介護予防事業や自主事業で育成したグループの自主活動を促し、地域での活動を紹介したりするなど継続した取組を進めました。
- 介護予防の情報の提供、新規参加者を紹介するなどして自主化したグループを継続して支援しました。
- 介護予防を行うグループの交流会を行い、エリア内の介護予防活動の拡充に取り組みました。また活動の中での課題などを気軽に相談できるように、お互いに顔の見える関係を構築することに努めました。

## 6 生活支援体制整備事業

### ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- 地域住民より情報収集を行い、地域課題の抽出を行いました。
- 今ある地域の資源を、地域包括支援センター内の地域活動一覧や行政からの出版物やガイド情報・地域住民からの情報提供等々、住民主体の活動団体を訪問・把握した上で、資源情報リストを作成しました。

### 圏域レベルの協議体の設置・開催

- 従来の地域活動支援である支え合い連絡会を再検討し、地域福祉保健計画に沿ったテーマ毎のグループワークを行いました。  
また上白根地区計画目標Dの『支え合いの仕組み作り』では、各地域の現状を把握するとともに地域課題の把握と解決に向けた『支え合いマップ』を提案しました。

### 圏域レベルの目標・取組事項の設定

- 第1層生活支援コーディネーターとの取組事項の検討の結果、地域福祉保健計画にある『仲間づくり、多世代交流の機会を増やす』為、自治会町内会への働きかけを行い、次年度の活動に向けた予算計上へ繋げる事が出来ました。
- またケアプラザの周知を兼ね、元気づくりマップや事業や講座案内を通じ、今まで足を運ばれなかった方々との繋がり作りにも着手しました。

### 具体的な取組事項への着手

- 認知症予防における運動の効果を配慮し、介護予防に重点をおいた体操指導員の育成に着手しました。
- 介護予防・日常生活支援総合事業に向けた取組として、資源開発の一環としての担い手発掘や特技を生かした講座の開講等により、誰もが生き生きと暮らす街づくりに努めました。

## 7 その他

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	18137	23300	151					5789
	介護保険収入				3804	14796	110243	4913	
	その他					1251	8967	422	
	介護予防ケアマネジメント費				2532				
	利用者等利用料						8630	407	
	その他の収入					1251	337	15	
	<b>収入合計(A)</b>	<b>18137</b>	<b>23300</b>	<b>151</b>	<b>6336</b>	<b>16047</b>	<b>119210</b>	<b>5335</b>	<b>5789</b>
支出	人件費	13686	21098		1679	15308	70152	3306	3764
	事務費	1602	480		4229	293	6500	308	
	事業費	308	668	151	15	7	9062	427	282
	管理費	5848	828				7746	364	
	その他	1095				56	984	46	
	消費税	1095							
	通信費						677	32	
	その他					56	307	14	
	<b>支出合計(B)</b>	<b>22539</b>	<b>23074</b>	<b>151</b>	<b>5923</b>	<b>15664</b>	<b>94444</b>	<b>4451</b>	<b>4046</b>
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>-4402</b>	<b>226</b>	<b>0</b>	<b>413</b>	<b>383</b>	<b>24766</b>	<b>884</b>	<b>1743</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。



# 平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高校生と地域の世代間交流	地域の高校生・地域	0	0	0	0	0	0
	28名						
	なし						
合同歌声喫茶2016 (参加費などは実行委員が管理)	一般	0	0	0	0	0	0
	436名						
	(500円)						
ひかりが丘 介護者のつどい 銀俱樂部	地域の介護者	0	0	0	0	0	0
	45名						
	なし						
つどい(高齢者サロン)	地域の高齢者	0	0	0	0	0	0
	0名						
	なし						
囲碁教室	地域	30450	30,450	0	0	0	30,450
	499名						
	なし						
古典を学ぶ会	地域	750	0	0	0	750	0
	39名						
	なし						
にこにこ会 (経費は共催の団体に管理)	地域の精神障害者	0	0	0	0	0	0
	101名						
	(200円程度)						
子ども科学クラブ	地域の小学校3年生以上	70038	70,038	0	60,000	10,038	0
	154名						
	なし						
ひかりの会	地域の言語障害者	0	0	0	0	0	0
	112名						
	なし						
癒しの音楽研究会	地域	0	0	0	0	0	0
	66名						
	なし						
上白根地区民生委員懇談会	地域の民生委員	10350	10,350	0	0	0	10,350
	92名						
	なし						
旭北地区民生委員懇談会	地域の民生委員	2650	2,650	0	0	0	2,650
	11名						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
施設連絡会	地域の施設	0	0	0	0	0	0
	17名						
	なし						
支えあい連絡会	連絡会メンバー	11728	11,728	0	0	0	11,728
	92名						
	なし						
夏休み子どもクラブ (手芸・科学・料理・ダンス・創作)	地域の小学生以上	18000	11,900	6,100	0	18,000	0
	56名						
	無料～200円程度						
旭ふれあい区民まつり (行政・PRコーナー出展事業)	一般	235	235	0	0	235	0
	613名						
	なし						
ボランティア育成講座	事業者	0	0	0	0	0	0
	3名						
	なし						
障害体験講座 (身体・視覚障害)	地域の小学校3年生	0	0	0	0	0	0
	50名						
	なし						
ボランティア交流会	地域のボランティア	7413	7,413	0	0	7,413	0
	35名						
	なし						
第14回ひかり福祉フェスタ	地域	3766	3,766	0	0	3,766	0
	382名						
	なし						
権利擁護関係事業 (認知症普及啓発勉強会・ 成年後見講座)	地域	0	0	0	0	0	0
	59名						
	なし						
消費者被害講座	地域	0	0	0	0	0	0
	97名						
	なし						
ひかりが丘生活講座	地域	10000	10,000	0	10,000	0	0
	22名						
	なし						
健康吹き矢	地域	42381	2,581	39,800	0	42381	0
	203名						
	200円						

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
みんなの庭	地域	17760	17,760	0	0	17,760	0
	22名						
	なし						
ひかりの輪 (輪投げ同好会)	地域	0	0	0	0	0	0
	208名						
	なし						
歌謡体操	地域	129600	129,600	0	0	129,600	0
	374名						
	なし						
認知症サポーター養成講座 &流しソーメン	地域	61642	61,642	0	5,000	56,642	0
	12名						
	なし						
3B体操体験会	地域(親子)	0	0	0	0	0	0
	9名						
	なし						
お守り&開運グッズ工作講座	地域	24494	24,494	0	0	24,494	0
	11名						
	なし						
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2016	<p>(目的) 歌好きの方々が集まって仲間作りや健康作り。また外出の機会を作る。区内の全ケアプラザを紹介。</p> <p>(内容) 2010年からスタートした合同歌声喫茶。毎年キャンセル待ちがでる程の人気事業に。2012年からは東日本大震災の募金活動も開始。集まったお金は職員が被災地に届けた。</p>	<p>年1回 (5月25日) 436名 旭公会堂</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひかりが丘 介護者のつどい 銀俱樂部	<p>(目的) 介護者の会、情報提供、虐待防止。場所はひかり商店街の喫茶かぶかぶ。</p> <p>(内容) 介護者サロンとして、地域包括支援センター職員とサロン形式で雑談。親睦を深め虐待防止に繋げる事を継続している。</p>	<p>毎月第2金曜日 12回 45名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁教室	<p>(目的) 囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の場所作りを目指している。</p> <p>(内容) 外出することが苦手な高年男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とした。ボランティアは福祉囲碁協会。</p>	<p>第1・3木曜日 第2・4水曜日 47回 499名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古典を学ぶ会	<p>(目的) 高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通して、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。</p> <p>(内容) 講師はご住職の方による、往生要集の購読など</p>	<p>毎月第4木曜日 8回 39名</p>

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこ会	(目的) 精神障害の方の居場所作り。 (内容) 会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与する。旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと【共に歩む市民の会】との共催。	毎月第4木曜日 12回 101名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども科学クラブ	(目的) 地域の小学生の3年～6年生までを対象に、様々な科学おもちゃ工作を通じて科学的興味を育てる。 (内容) 講師の科学博物館ボランティアの藤野氏に毎月違う工作を指導して頂く。地域のボランティアも2、3名協力。	毎月第3水曜日 10回 154名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひかりの会	(目的) 脳血管障害による言語障害のための親睦サロン。 (内容) 月に一度仲間と親睦を深め、多少の言語リハビリも行うサロン活動。	毎月第4火曜日 9回 112名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
癒しの音楽研究会	(目的) 地域住民の閉じこもり防止、ストレス解消、心の安定を図る。 (内容) 癒し系の音楽(ヒーリング音楽、クラシック、オルゴール等) やリラックスできるような音楽を聴く、あるいは音楽をBGMにしてリラックスした状態で参加者がコミュニケーションを図った。	毎月第2日曜日 12回 66名

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根地区 民生委員懇談会	<p>(目的) 地域の民生委員・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。</p> <p>(内容) 市営・UR団地の民生委員・児童委員と地域活動交流、地域包括支援センター、居宅介護事業所のメンバーで情報交換・連携強化・研修等を行っている。旭区高齢障害支援課の地区担当も参加した。</p>	毎月第2金曜日 10回 92名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
施設連絡会	<p>(目的) 地域の介護保険施設の相談員と定期的に情報交換を行い、地域課題の抽出・対応の検討などを行う。</p> <p>(内容) 地域の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、高齢者グループホームの相談員等との情報交換や地域課題の抽出・対応の検討、ボランティア支援などを行った。</p>	第3火曜日 4回 17名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
支えあい連絡会	<p>(目的) 地域施設連絡会、ひかりネット、SOSローカルネット、あんしんネットワークなどの活動を統括して地域の福祉につなげる。旭区と地域福祉保健計画推進についても、検討する機会。</p> <p>(内容) 地域の状況にあったテーマ・時期に会議形式で行った。</p>	5/20、9/2、3/3 3回 92名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康吹き矢	<p>(目的) 地域の高齢者や閉じこもりの男性等の外出のきっかけづくり、また吹き矢による腹式呼吸トレーニングと腹筋・口の周りの筋力強化による健康増進。</p> <p>(内容) 呼吸法を意識しながら、ゲームを楽しんだ。</p>	第1水曜日 第3月曜日 第4土曜日 35回 203名

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなの庭	<p>(目的) 園芸を通じた世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。</p> <p>(内容) ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2～4回植え替え、随時手入れに参加していただく。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて。</p>	5/6、10/7 2回 22名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌謡体操	<p>(目的) 健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。</p> <p>(内容) カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に、歌いながら体を動かしていけるようにする。またライブDAMだけに捕らわれず楽しく続けられるようDVD(四季の歌)も取り入れ、参加者に自ら選択してメニューを組み立てていく自主性を育むきっかけとした。</p>	第1・3月曜日 24回 374名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひかりの輪	<p>(目的) 輪投げのゲームを楽しむことで外出のきっかけ、世代間交流となることを目的とする。</p> <p>(内容) 地域の方から寄付された輪投げの道具を利用し、グループ対抗の輪投げのゲームを行う。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて。</p>	第1・3日曜日 23回 208名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者被害講座	<p>(目的) 高齢者だけでなく、地域の方々の消費者被害を防ぐため、関係機関と連携し情報の提供を行うことで、文字だけでは伝わらない生の声として、意識に残るように取り組む。</p> <p>(内容) 悪質商法の手口や対処法についての講演等</p>	4月～12月 5回 97名

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座&流しソーメン	<p>(目的) 福祉教育と地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として主に親子(小学生+親など)を対象にして開催。</p> <p>(内容) 地域で活動するキャラバンメイトを認知症サポーター養成講座の講師として招き実施。また気軽にコミュニケーションを図る場として流しソーメンを行った。</p>	8月27日 1回 12名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高校生と地域の世代間交流	<p>(目的) 地域の公園清掃を通して世代間交流を図る。</p> <p>(内容) 地域の県立高校のイベントを利用して老人会の皆さんと公園清掃を行い、親睦の場とした。</p>	9月13日 1回 28名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭北地区民生委員懇談会	<p>(目的) 団地外の旭北地区の民生委員(3名)との情報交換・課題検討等による連携強化。</p> <p>(内容) 当該地区の民生委員3名、旭区役所地区担当ケースワーカー・保健師、地域活動交流、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所ケアマネージャーのメンバーで実施。地域の現状や民生委員の活動についての悩みや課題の共有を行い、解決策や今後必要な活動等検討を行った。</p>	9月30日 1回 11名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み子どもクラブ	<p>(目的) 小学生対象の居場所作りとして始めたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント(科学クラブ、クッキー教室、手芸教室など)で恒例となっている。</p> <p>(内容) 定期的に行っている子ども科学クラブに加え、クッキーなどの手作り教室を開催。</p>	7月~8月 5回 56名



# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア育成講座	(目的) 高齢・障害者の多い地域で車椅子や電動カート等を利用している方の理解を深める。 (内容) 高齢者疑似体験と車椅子の基本操作の体験を行う。	7月26日 1回 3名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事業 (旭区ケアプラザ共催)	(目的) 区内ケアプラザのPR (内容) 区内ケアプラザの周知のため、行政PRコーナーにて行政計画周知のためのPR活動の支援を行う。	10月16日 1回 613名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症普及啓発勉強会	(目的) 地域の高齢者等が認知症について知識を深め、家族、親族、友人、近隣住民に発症した場合の対応方法を知ってもらう。 (内容) 認知症の症状や具体的な対応方法を体験談や資料、4コマ漫画を用いて講義する。	12月 2回 42名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見講座	(目的) 成年後見制度の存在を地域に広め、認知症の高齢者の権利擁護の一助とする。成年後見制度が必要な高齢者が制度をすみやかに利用できるよう、地域の人が制度をすぐ思い浮かべられるよう周知する。 (内容) 成年後見制度について講義、質疑応答、あんしんセンターの紹介など。	12月15日 1回 17名

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひかりが丘生活講座	<p>(目的) 生活に関する地域の声(ニーズ)を収集し、その内容の講座などを行う事で、地域の方々の興味や、やる気の増進につながる一助となることが目的</p> <p>(内容) 生活に役立つ様な講演会・講座(例:終活・介護予防・認知症・防犯等)の開催の要望に応じて出前講座も行う。平成28年度は防災講演会を開催した。</p>	11/18、1/20 2回 22名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第14回ひかり福祉フェスタ	<p>(目的) 地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすい狙い。</p> <p>(内容) グループがバザーや催しを通じて地域との連携を深める。実行委員会(カプカプ他)と共催、地域包括支援センターでは介護予防の啓発、地域活動交流では催しものにボランティアをコーディネート。</p>	11月20日 1回 382名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3B体操体験会	<p>(目的) 当ケアプラザにおける新規事業開催の可能性の検討(アンケートによる希望も多かったため)及び子育てサロン参加者を対象に健康増進と親子・参加者間のコミュニケーションを図ることを目的として実施。</p> <p>(内容) 「県民スポーツ週間」関連事業として日本3B体操協会神奈川支部と共催、親子体操を中心に実施。</p>	10月28日 1回 9名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お守り&開運グッズ工作講座	<p>(目的) 地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。</p> <p>(内容) 工作を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催。</p>	2月22日 1回 11名

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障害体験講座 (身体・視覚障害)	(目的) 福祉教育の一環として小学校を対象に障害体験や障害者の話を聞き障害に対する理解を深める (内容) アイマスクや車椅子などによる障害体験、視覚障害者へのインタビュー	3月1日 1回 50名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	(目的) ボランティア登録している団体・個人が集まり活動の紹介、交流を通して情報交換。 (内容) アンケート実施しケアプラザでの活動に関して意見を頂き、情報収集。	3月12日 1回 35名